



当別から W杯の日本代表選手へ

米口 達也^{くん} (美里)

当別小学校四年生で当別サッカー少年団四年生のキャプテン。
FIFAワールドカップ2006年ドイツ大会で、エスコートキッズ
に任命され、日本代表選手と手をつないで入場しました。

全国2,506人の中から 日本代表に選出

サッカーワールドカップ(W杯)で日本代表と共にピッチに降り立った米口達也くんは、日本マクドナルドが募集した、選手と手をつないで試合に入場する「エスコートキッズ」に選ばれました。

選考基準は、夢や目標の達成に努力していること、サッカーに対する熱い思いなどで、「ボール1つで世界中の人と友達になれる」と書いた作文と、少年団の主将経験が評価され、女子2人を含む、岩手、静岡などから選ばれた11名のエスコートキッズでも主将に任命されました。

現地で行った親善試合の相手は、オーストラリア代表と共に入場するドイツの子どもたちだけに、絶対負けられない試合。その結果は？
「日本のチームが5対1で勝ったよ、アシストも決めたよ」



ドイツの子どもと、サッカーなどを通じて交流(一番左が米口君)

夢の舞台に立った日から 未来に向かって

カイザースラウテルンで行われた日本の初戦、オーストラリア戦で、約40,000人の観衆の中、宮本恒靖主将と手をつなぎ入場した様子を「とても緊張した。声が聞こえない位大きい音でびっくり」と興奮気味に振り返っていました。

米口くんが代表で一番好きな、中村俊輔選手のゴールにより先制したものの、日本代表は惜しくも敗れま

したが、全力で応援したキッズたちは「今度はみんな、サッカーの全国大会で合おう」と健闘を誓い合いました。

当別に帰ってきて「次は、自分のおこずかいでまた行ってもいい？」と両親に訊いた米口くん。「ワールドカップは一生の思い出、将来は日本代表になって、出場したい」と笑顔で話し、サッカー少年団の練習に参加していました。



6月12日 日本対オーストラリア戦
(日本の先頭が米口君と宮本主将)

人の動き 6月1日現在 ()は前月との比較

人口	19,749 人	(2人増)
世帯	7,769 世帯	(9世帯増)
男	9,649 人	(9人減)
女	10,100 人	(11人増)



今月の表紙

今年の夏至祭は、太美駅前オープンゲセレモニーを開催しました。

太美駅前スウェーデンプラザから、スウェーデン橋までの約1kmを、国旗を手に行進。来年はレクサンド市との交流の節目、20周年を迎えます。